

# 千電協会報



一般社団法人

千葉県電業協会

2013. 1 第39号



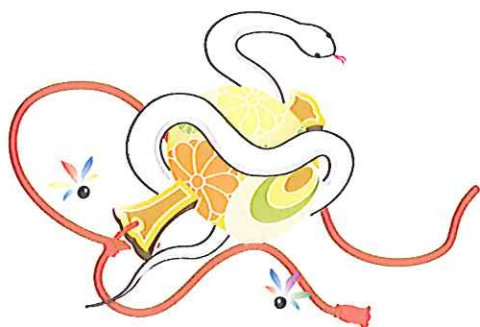
## 目次

- ご挨拶  
会長 並木 鷹男  
千葉県知事 森田 健作  
千葉県県土整備部営繕課 課長 久保田 暁  
(一社)日本電設工業協会 会長 山口 学
  
- 会員行事 「1年を振り返って」  
2月21日 第49回通常総会  
5月23日 第50回通常総会  
創立50周年・一般社団法人移行記念祝賀会  
7月6・25日 平成24年度地区別会員交流会
  
- 委員会報告  
防災・渉外委員会  
技術・人材委員会  
総務・企画委員会
  
- 工業高校総合技術コンクールの審査員を経験して
  
- 工業高校での出前授業を経験して  
モダン工業(株)  
(株)和幸電気工事
  
- 建設業における労働災害発生状況と防止のための心構え
  
- 社会保険加入促進計画
  
- 会員 消 息
- 会 務 報 告
- 協 会 役 員
- 会 員 名 簿
- 編 集 後 記





# 年頭のご挨拶



(一社)千葉県電業協会会長



並木 鷹 男

新年明けましておめでとうございます。

ご健勝にて輝かしい新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。日頃から関係各位並びに会員の皆様方には格別のご支援を賜り、改めまして厚く御礼申し上げます。

新しい年を迎え明るい話題に終始したい所ですが、昨年来、内憂外患、政治の混乱、円高、震災復興の遅れ、原発問題、又、欧米の金融不安、領土問題等々に翻弄され、ひと時たりとも気を抜けない経営環境であったと思われます。特に我が国の基幹産業の一つでもあります大手電子・家電業界は、軒並み業績を悪化させ、製造拠点の閉鎖や海外移転等、大幅なリストラによる地域経済への影響も甚大でした。

このように先行き不透明な経済環境で幕を開けた 2013 年ですが、政治体制の改革など自浄作用も働き始め、変化の兆しが見え始めたように感じます。失なわれた 20 年とも言われますが、円高や国債高が表すように我が国の経済力は依然として世界のトップクラスにあり、自信をもって前向きに経営にあたるべきです。いつまでも『不透明な未来』と悩まずに『想定出来る未来』に向けて我々も新しい有効な手を打つべき時が来ていると思います。

当協会は、昨年、創立 50 周年を迎え、これを機に一般社団法人の認可を取得、心機一転、新たな 51 年目をスタートさせました。「安全で安心」な県土づくりは当協会に与えられた重大な責務です。原発事故による電力不足は、待ったなしの意識改革を国民に求めてきました。それでも飽くなき快適性を追求する社会の要求に応え、社会生活に必要不可欠と言えるエネルギー・インフラの整備・維持管理を担う我々電気工事業界は、高度化、複雑化するエネルギー・インフラの技術革新に尚一層の努力を傾注しなければなりません。

最近、注目され始めたエネルギー・インフラ市場には再生可能エネルギーの活用や省エ

エネルギーなどの新商品が数多く出回り、ある意味大きな市場に変化しつつあります。この変化は当業界にとっては喜ばしいことでもあるのですが、その反面、流行ものに群がる悪徳な業者も跋扈し始め、次世代の商品としての信頼感を低下させています。本協会はこのような課題にも真正面から取り組み、正しい情報を地域に発信して参ります。

公益事業としては、千葉県と締結する『災害防止協定』を基本に、神奈川・埼玉両県電業協会と結ぶ『災害時相互支援協定』と連携させ、県民の安全を守ります。又、『県内工業高校等の就労支援事業』を推進し、次世代を担う人材を育成して若者の就労を支援いたします。

共益事業としては、会員企業への優先発注、分離発注の推進、経営力の向上、人材教育、技術力の向上など、これからも多くの課題に積極的に挑戦して参ります。

このように本協会は、現代の文明社会を支えるエネルギー・通信インフラ等の整備、省エネ、新エネルギー等の環境関連事業の調査研究、会員企業の参入促進、そして県民の安全を支える災害防止活動などに真摯に取り組み、社会的な責任を果たして参ります。

創立以来 50 年の長きに亘って営々と築きあげられた伝統と信頼を礎に、大きな転換期を迎えた 2013 年、新たなる未来へ向けて『地域社会への貢献』と『会員企業の繁栄』を“錦の御旗”に掲げ、弛まぬ努力を続けて参ります。何卒、本年も宜しくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます、新しい年のご挨拶とさせていただきます。





# 知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

森田 健作



明けましておめでとうございます。

輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一般社団法人千葉県電業協会の皆様には、日ごろから県政の推進に多大なる御尽力を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、貴協会におかれましては、昨年創立50周年を迎えられ、これまで長年にわたり、電気工事業界の発展に貢献してこられたことに深く敬意を表します。

また、昨年は、ちばアクアラインマラソンの開催にあたり、貴協会には協賛企業として御協力をいただき、誠にありがとうございました。

さて、県ではこれまで、総合計画「輝け！ちば元気プラン」に基づき、計画の基本理念である「暮らし満足度日本一」を目指して取り組んでまいりました。

今春には、首都圏中央連絡自動車道の東金・木更津間、43キロメートルが開通します。これにより、東京湾アクアラインと一体となって、本県の活性化へ多大な効果が期待されます。すでに、アクアラインの着岸地に首都圏最大級のアウトレットがオープンするなど大きな経済効果が出ており、今後さらに、立地優位性の高まりを生かした企業誘致施策を一層充実するとともに、観光客誘致の積極的なプロモーションを展開してまいります。また、圏央道は、外環道などとともに首都圏の高速道路ネットワークの一翼を担い、交通渋滞の緩和や災害時に代替機能を果たす大変重要な道路であることから、大栄・横芝間についても、用地取得に向けた取り組みを進め、1日も早く全線開通が図られるよう努めてまいります。

今年開港35周年を迎える成田空港は、年間発着枠30万回化に向けて路線の拡充やLCCの新規就航などが進み、グローバル・ハブ空港として、また、千葉県民の利用しやすい空港として、大きな飛躍が期待されます。こうした中、昨年の「グレード・アップ『ナリタ』活用戦略会議」の提言を受け、本年は、官民の連携による「(仮称)成田空港活用協議会」を設立し、観光や産業の振興などの取り組みを、全力で進めてまいります。

厳しい経済情勢の中、「中小企業の元気が千葉県の元気」を旗印として、地域を支える中小企業が円滑に経済活動を進めていけるよう積極的に支援します。厳しさが続く雇用情勢に対しても、国や市町村とも連携して失業者や若年者等に対する就業支援を行うなど効果的な対策を実施してまいります。

県民生活の安全・安心の確保も重要です。貴協会の皆様には、東日本大震災において、震災発生直後から県との災害協定に基づき、公共土木施設への自主点検や節電対策に迅速に対応いただきました。貴協会の事業は、県民の安全で安心な生活を守る重要な役割を担っています。

県では、今後とも皆様の御協力を得ながら全力で復旧・復興、放射性物質の対処などに取り組むとともに、災害に強い千葉県づくりを進め、安全安心日本一の千葉県を目指してまいります。

本年も、貴協会の皆様とともに、「千葉で生まれ、住み、働けて良かった」と誇りに思える、光り輝く千葉県づくりを目指して、全力で取り組んでまいります。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会の本年の益々の御発展と会員皆様の御活躍を祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。





## 年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部営繕課 課長

久保田 暁



新年明けましておめでとうございます。

我が国の経済状況は依然として厳しいものがあり、暮れの総選挙後の政治の先行きも見えづらい状況が続いています。

地域の経済、災害時対応などに重要な役割を担う建設関連産業を取り巻く環境も厳しい状況が続いており、さらに国土強靱化政策の行方も気になるところです。

そのような中、一般社団法人千葉県電業協会の会員の皆様には、電気設備工事の適正な施工や安全の確保等を通じて良質な公共建築物の整備に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

千葉県においては、県の発注する工事は出来るだけ県内業者に発注すると共に、下請け業者についても出来るだけ県内業者の活用を促しているところです。県産品の活用も積極的にすすめています。

また、価格の高い工事については、価格競争に加え、優れた品質を確保するための方策を提案する事業者を落札者とする総合評価方式一般競争入札を導入しています。

工事条件等を反映した施工計画や工事实績、災害協定等の締結状況など会員の皆様が長年培ってきた実績やノウハウ等が入札価格と併せて総合的に評価されるよう配慮しています。

さらに昨年は、建設業許可申請の提出書類に「健康保険等の加入状況」等が追加されると共に「千葉県建設工事適正化指導要綱」の施工体制台帳、施工体系図などの様式を改正して、建設業者における健康保険等の加入を促進し、建設業の健全な発展に資することとしています。

公共建築物については、使い易さ、強度、デザインなど建築物の基本性能だけでなく、近年は施設の長寿命化、災害対応、環境負荷の低減、維持管理コストの低減などの多岐にわたる付加価値が今まで以上に求められています。

電気設備については、高効率型照明器具や高効率型変圧器、LED照明、人感センサーなどの設置により維持管理コストの低減を図ると共に、太陽光発電設備を設置するなど環境に配慮した施設整備を行っています。

昨今、技術の発展も目覚ましいものがありますが、入札、工事監理などに係る制度も複雑化し、また、社会情勢の変化に対応したより良い制度とするために度々改正されています。

公共工事の品質確保のためには、新しい技術等の取得も重要ですが、入札の制度、工事管理の方法などについて、発注する側、受注する側双方の正しい理解が必要です。

貴会会員の皆様におかれましては、新しい法令・制度の理解や最新技術の研鑽、後継者の育成、現場においては安全管理の徹底に励まれ、電気設備業界のリーダーとして、良質な公共工事をしていただくことを通じて、県民生活の向上、地域産業の振興に寄与していただきますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人千葉県電業会のさらなるご発展と会員の皆様のますますのご繁栄を祈念しまして挨拶いたします。





## 年頭のごあいさつ



一般社団法人 日本電設工業協会会長

山口 学



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

千葉県電業協会の会員の皆様には、日ごろから当協会の事業活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

経済・産業活動や国民生活を支えるライフラインを担う電設業界は、協会活動を通じて、自然災害に対する安全対策の一層の強化を図りつつ、電力の供給事情の変化や節電ニーズに的確に対応し、現場で役立つ電設技術を提供するとともに、省エネルギー対策の強化と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組み、中長期的課題である低炭素社会の実現にも貢献していくとともに、次の課題の克服に向けた活動を展開して参ります。

第一に、優秀な人材の継続的な確保と技術・技能の的確な継承を行っていくため、若者が夢と生きがいを持って活躍できるよう、能力維持・向上のための継続能力開発（CPD）に積極的に取り組むとともに、社会保険の加入促進や登録電気工事基幹技能者の処遇改善を始めとする就労環境の改善に努め、電設業界の魅力を高めて参ります。また、電設協が提供する講習会メニューを活用し各都道府県協会が開催される講習会等の支援を通じて、団体会員である各協会の取り組みをバックアップして参ります。

第二に、厳しい経営環境の中で適正な利益を確保しつつ品質の高い電気設備を供給するため、適正な価格・適正な工期での受注を確保し、健全で公正な競争市場の構築を進めることが必要です。特に需要設備の使用前検査の規制緩和に伴い、無理な工程による品質管

理・安全面への影響が問題となっており、当協会を取り纏めた「自家用工作物の設置及び受電時期設定の手引」を活用し、関係機関と連携し、適正な受電時期の確保に向けた取組を強化して参ります。

第三に、顧客との直接対話を通じて電気設備工事の品質確保、技術革新への対応やライフサイクルコストの低減に的確に対応でき、また、品質とコストとの関係が透明かつ明確な「分離発注方式」の採用を強く訴えて参ります。

一方、国におかれましては、国民生活の安全と安心を支える社会資本整備の着実な推進を図るとともに、電力の安定供給の確保に向け、原発の再稼働問題、電力システム改革を始めとするエネルギー政策の基本的方向について、腰を据えた議論を展開し方向性を定めて頂くことを切にお願いするものです。

このように、電設業界は多くの課題を抱えておりますが、貴協会と当協会が手を携えて困難に立ち向かい、会員の方々に役立つ協会活動を展開して参りたいと考えております。

結びに、千葉県電業協会の更なる発展と会員皆様方のご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。





# 会員行事

詳しくはホームページをご覧ください。他の活動についても掲載されています。

<http://www.tidenkyo.jp/>

## 第49回通常総会

- 日時 2月21日（火）  
 場所 千葉県建設業センター3階会議室  
 議案
- ・平成23年度事業報告
  - ・平成23年度収支決算報告
  - ・平成24年（1月～3月）事業計画
  - ・平成24年（1月～3月）収支予算
  - ・理事補欠選任
- 参加者 出席19社 書面50社 委任33社



## 第50回通常総会



- 日時 5月23日（水）  
 場所 オークラ千葉ホテル  
 議案
- ・平成24年（1月～3月期）事業報告
  - ・平成24年（1月～3月期）収支決算報告
  - ・一般社団法人移行について
  - ・定款の変更について
  - ・役員報酬及び費用に関する規程の変更
  - ・平成24年度事業計画
  - ・平成24年度収支予算
  - ・任期満了に伴う役員改選
- 参加者 出席60社 書面18社 委任32社

## 創立50周年・一般社団法人移行記念祝賀会

日時 5月23日(水) 場所 オークラ千葉ホテル  
参加者 会員57名 賛助会員16名 来賓57名



## 平成24年度地区別会員交流会



### 千葉・市原地区

日時 7月25日(水)  
場所 オークラ千葉ホテル(千葉市)  
参加者 会員12名



### 東葛・葛南地区

日時 7月6日(金)  
場所 フローラ西船(船橋市)  
参加者 会員22名

### 北総・東総・山武・長生地区

日時 7月6日(金)  
場所 メルキュールホテル成田(成田市)  
参加者 会員12名

### 夷隅・安房・君津地区

日時 7月6日(金)  
場所 東京ベイプラザホテル(木更津市)  
参加者 会員15名





# 委員会報告 防災・渉外委員会

## 委員長

### 佐藤 寛



防災・渉外委員会の活動を紹介致します。

当委員会のメンバーは、副会長を始めとして理事5人、委員8人で組織構成されており、各地域ごと役割分担がなされ防災・渉外活動を行っています。各地域の出先機関とはその地区の担当理事を先頭に、地区の協会員が防災に関して出先機関と関係を密にします。そのことによって営業活動につながることを考えます。自然災害は人間がコントロールし得ない災害とされ、日本は地震・津波・台風・洪水などが世界的に見ても多い国です。実際に災害に直面したとき、適切な行動がとれるよう毎年行っている、県との合同震災訓練は大変に貴重な時間です。訓練の際「災害発生時に役立つか」「防災知識が身につくか」という2つのポイントを絞って、合同震災訓練を実施したいと考えています。また渉外に関しては、県発注案件での指名競争入札においては協会員の優先指名を、一般競争入札では協会員限定の枠を、県内に拠点を持つ中央諸官庁また市町村においては、地区の会員の方と協力をし、陳情活動に力を入れてまいります。

最後になりますが、引き続き防災・渉外活動に会員皆様のご理解とご協力を、そして協会事業に積極的に参加していただくようお願いして、委員会活動報告とさせていただきます。

## 行事

### ◇陳情活動

日時 6月19日(火)～29日(金)  
 陳情先 千葉土木事務所他 県出先機関 54か所  
 内容 異動あいさつ

### ◇国、県との意見交換の実施

#### ◇県との合同震災訓練

開催日時 8月31日(金)  
 場所 県内全域  
 参加者 全会員

#### ◇災害応急対策に係る活動

・出先機関説明 6月19日～6月29日 21カ所  
 ・担当施設パトロール 8月31日 全会員  
 ・協定に係るその他の活動 随時

### ◇安全研修会

開催日時 10月30日(火)  
 場所 オークラ千葉ホテル  
 参加者 88名  
 内容 「建設業における労働災害の発生状況と防止のための心構えについて」  
 講師 千葉労働局労働基準部健康安全課課長 泉 豊彦 氏

# 委員会報告 技術・人材委員会

## 委員長

荒井 光江



技術・人材委員会より、24年度委員会活動の報告をさせていただきます。

今年は4年ぶりに、2級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会を開催し、一般社団法人へと移行した事を契機に、広く一般にも募集をした結果、会員他17名の方に参加をして頂き、皆さん技術資格取得の為に、熱心に耳を傾けていました。その後のアンケート調査でも、講習内容について、理解した方が多く見られました。又、4月に行われた1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会には、昨年の12名よりも多い30名の方に参加をして頂き、資格取得に対する意識が高まったように感じられました。

10月に開催された技術研修会では、88名という沢山の会員の皆様に御参加を頂き、有意義な研修会となり、同時開催のミニ展示会でも、賛助会員企業の皆様のご協力により、新型LEDライト等、新しい技術を紹介することができ、より充実した展示会を行う事ができました。今後も、会員企業の皆様の要望に沿った研修会等を行っていきたいと考えております。沢山の皆様の御意見を、頂ければと思います。

会員の皆様、副会長、副委員長をはじめ委員、事務局の皆様のお陰をもちまして、委員会活動を行うことが出来ました事を、感謝申し上げます。有難うございました。今後も宜しく申し上げます。

以上報告をさせていただきました。

### 行事

#### ◇1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会

日時 4月13日(金)～15日(日)

会場 建設業センター3階 会議室

出席者等 30名

#### ◇経営研修会

日時 7月24日(火)

会場 オークラ千葉ホテル

テーマ

「全社体制でコストダウンを推進し利益体質を構築する」

講師 (株)建設経営サービス小澤 康宏 氏

出席者等 30名

#### ◇ミニ展示会

日時 10月30日(火)

会場 オークラ千葉ホテル

出展社 賛助会員企業5社

#### ◇2級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会

日時 9月7日(金)～9日(日)

会場 建設業センター3階 会議室

出席者等 17名

#### ◇賛助会員との情報交換会

日時 9月21日(金)

会場 京成ホテルミラマーレ

出席者等 委員 6名 賛助会員企業 6社

#### ◇技術研修会

日時 10月30日(火)

会場 オークラ千葉ホテル

テーマ 「工事検査成績アップの取組」

～完成検査の上手な受け方(上手な資料作成)～

講師 千葉県県土整備部技術管理課

建築・設備検査室主幹 緑川 安男 氏

出席者等 88名



# 委員会報告 総務・企画委員会

委員長

中村和彦



総務・企画委員会より、24年度委員会活動の報告をさせていただきます。

近年、当委員会は工業高校との情報を密にするために工業高校との情報交換会を開催しております。今年度も会員32名、工業高校7校と多数の参加がありました。工業高校との情報交換会の狙いは電気科の生徒を当会員企業に勧誘するためです。

また、工業高校総合技術コンクールの電気工事部門の審査委員も2年目を迎えましたが、電気科の生徒は今すぐにでも電気工事業界で活躍できる生徒が多数みうけられ頼もしいかぎりです。今後も総務・企画委員会の活動にご協力頂けますよう宜しくお願い致します。

以上、委員会活動報告とさせていただきます。

## 行事

### ◇千電協会報

1月1日 千電協会報39号（協会ホームページ掲載）

### ◇市川工業高等学校出前授業

日時 2月8日（水）

会場 市川工業高等学校

出席者等 委員3名

モデン工業（株） （株）和幸電気工事

### ◇工業高校との情報交換会

日時 6月27日（水）

場所 オークラ千葉ホテル

出席者等 会員 32名

教育庁 工業高校7校 ポリテクカレッジ

### ◇工業高校総合技術コンクール

※審査員として当協会より3名協力

日時 12月1日（土）

会場 市川工業高等学校

## 工業高校総合技術コンクールの審査員を経験して



玄海電設工業（株）

大浦政伸



平成24年12月1日（土）千葉県立市川工業高等学校を会場に、県内の工業高校から代表が集まり、技術を競う「第29回総合技術コンクール」が行われました。

このコンクールで知事賞を授与された生徒は、千葉県代表として関東大会へ出場する事になるのです。そのような重要なコンクールの審査員を自分が務めて良いのかと悩みましたが、先生方も困っていた様ですし、他に鈴木副会長と中村理事が一緒でしたので、心強くお引き受け致しました。実際、打合せを行っていくうちに感じた事ですが、生徒よりも先生方同士が熱くなられていて、見えない戦いが打合せの時点で始まっているのを感じました。

当日は、選手に選ばれた生徒さん達は緊張し、何時も通り出来た人は少なかったのではないのでしょうか。実際の審査項目は先生方より案が出されて、その内容で減点幅を決め、減点方式で採点を行うのですが、その項目も細部に渡り細かく決められていて、この位は良いのではと思う程厳しい物です。しかし、関東大会レベルで採点しておかないといけないうのも分かります。自分たち審査員がいい加減な採点をしてしまうと、関東大会に行った生徒さんが傷つくのではないかと思います、厳しい目で採点させて頂きました。

このコンクールに出場してくる生徒さん達は、少なくとも学校代表なので、掃除もきちんとしていて、技術的にも即戦力になりそうな生徒さんばかりで、驚かされます。審査員の自分より優れた生徒さんも何人もいました。みなさんも来年、時間がある方はぜひ見に行かれてはと思います。

貴重な経験をさせて頂き有難う御座いました。





## 工業高校での出前授業を経験して



モデン工業（株）



大野 栄 太

平成24年2月8日。前々日の雨も嘘のような、輝く日差しが窓から差し込む午後。今日は、千葉県立市川工業高等学校での出前授業。授業のテーマは『企業の求める人材像・企業人としての心構え』というなかなか仰々しいテーマであり、業界の諸先輩方を前にして、果たして私が説明者として適任かどうか少なからず不安もあった。反面、出前授業は私にとって成長の為の大きなチャンスであると、本来のポジティブシンキングが働き、説明者に立候補したのもまた事実。自分自身への挑戦という意味で期待感に心が躍る私もいた。

不安と期待。そんな心持ちの私をよそに出前授業は始まった。20数名の生徒の純粋な瞳は、腰の定まらない私をより浮き彫りにするほど真っ直ぐで、その輝きは朝日にも似た希望に満ち溢れるものであり、電気工事業界の未来に輝きをもたらす光そのものであった。

正直、私の不慣れでつたない説明を生徒の方々がどのように受け止めたかはわからない。しかし、電気工事業界で働く企業人の1人として、教育現場との橋渡しという役目を少しでも果たせたならば光栄である。そして何より電気工事業界の明るい未来を感じられる舞台を用意してくださった学校関係者の方々と生徒の方々に、この場をお借りして感謝の意を述べたい。貴重な機会を本当に有難うございました。

出前授業を終えた教室の窓からは、依然として輝く日差しが差し込んでいた。



## 工業高校での出前授業を経験して



(株) 和幸電気工事

遠藤 隆 恵



この度は、千葉県立市川工業高校において、出前授業（企業と専門高校の交流会）での企業説明の機会をいただき、心より感謝申し上げます。

学生の皆様の真剣なまなざしと、説明会に積極的に参加する姿勢に私自身、多くの気づきを得ることができました。その一方で、学生の皆様が求めている情報を提供できたかという点に関しましては、私自身の準備不足もあり、役に立つ内容説明であったかどうか、と反省しております。

さて、未だ、国内の建設業界、特に中小企業の建設業におきましては、“景気が良くなった”とは言い難い状況であります。そのような中でも、学生の皆様には高い志をもって基礎を学び、技術を習得して頂きたいと思えます。また、我々企業は、このピンチをチャンスに変える事のできるよう、案件発注の公開を待っているだけではなく、自らが提案し、又は市場を作り出していけるよう、模索しながら業界の発展に貢献して参りたいと存じます。さらには、新しい技術を身につけるため、社員の技術力向上の為の研修等、社内においても様々な取り組みを行っていきたいと考えております。

今回、企業と専門高校の交流会に参加致しまして、わが社では専門高校卒の学生採用を実施した事がないので、若いエネルギーと新鮮なアイデアを積極的に取り入れていく事も、この停滞している現況を突破する為には効果的な方法なのでは、と実感しました。世間では『学生の理系離れが進んでいる』と言われております。未来の業界を担う若者に建設業を理解、認知してもらおう初めの一步として、このような学生と企業の交流会は非常に有効なきっかけであると体感しました。貴重な機会を頂きまして、ありがとうございました。

